

令和7年度第4回千葉市水道事業運営協議会議事録

水道局水道総務課

1 日 時

令和8年3月19日（木）午後2時00分～午後2時40分

2 場 所

千葉市役所 本庁舎 XL会議室301

3 出 席 者

（委員）杉谷委員、川瀬委員、吉川委員、岡崎委員、青山委員、椛澤委員、松坂委員、
段木委員、小湊委員、石川委員、小幡委員、白井委員

（事務局）山田水道局長、神田水道局次長、布施水道総務課長、塩見水道事業事務所長、
山田水道総務課長補佐、宮本水道事業事務所長補佐、工藤水道総務課主査、
樋口水道事業事務所主査、大矢主任主事、野田主任主事、山口主任技師、
長谷川主事

4 傍 聴 人

0人

5 議 題

- (1) 令和8年度千葉市水道事業会計予算について
- (2) 千葉市営水道の水道料金特別減免について
- (3) 千葉市水道事業中長期経営計画について

6 配 付 資 料

- (1) 資料1 令和8年度千葉市水道事業会計予算について
- (2) 資料2 千葉市営水道の水道料金特別減免について
- (3) 資料3 千葉市水道事業中長期経営計画の進捗状況について
- (4) 資料3-別紙1 「千葉市水道事業中長期経営計画の改定（案）」に対するご意見
と市の考え方
- (5) 資料3-別紙2 千葉市水道事業中長期経営計画（R7改定）-概要版-

7 議事の概要

- (1) 令和8年度千葉市水道事業会計予算について
令和8年度千葉市水道事業会計予算について説明を行った。
- (2) 千葉市営水道の水道料金特別減免について
千葉市営水道の水道料金特別減免について説明を行った。
- (3) 千葉市水道事業中長期経営計画について
千葉市水道事業中長期経営計画について説明を行った。

【議題「令和8年度千葉市水道事業会計予算について」の質疑応答】

< 椛澤委員 >

資料1「2他会計繰入金について（1）他会計繰入金の推移」の中で「令和2年度に繰入金の総額は16億円を超え、令和8年度は管路の耐震化を一層進めていく必要があることなどから18億円を超える予算となった」とあるが、一般会計繰入金の金額について、今後の見通しを教えてください。

< 布施水道総務課長 >

一般会計からの繰入金は、令和8年度の約18億円をピークに、現行の千葉市水道事業中長期経営計画の最終年度である令和12年度には約16億円となる見込みである。

< 椛澤委員 >

令和8年度予算における年度末の管路の耐震化率はどのくらいになるのか。

< 塩見水道事務所長 >

令和8年度予算における年度末の耐震化率は、管路全体で57.1%となる。

【議題「千葉市営水道の水道料金特別減免について」の質疑応答】

< 吉川委員 >

千葉市内における県営水道利用者でマイポータルに登録できず減免期間の延長手続きができない人はどのくらいいるのか。いる場合はどのような対応をするのか。

< 布施水道総務課長 >

県営水道のマイポータルの登録状況は把握していないが、利用者全員が減免期間延長手続きをできるよう予算を確保し、登録手続きについては個別の説明会を実施する予定であるとのことである。

< 吉川委員 >

市営水道は減免延長手続きを行わなくても6か月減免されるという認識でよいか。

< 布施水道総務課長 >

市営水道にはマイポータルに該当するものが無いため、条件無しで6か月減免される。県営水道は原則4か月の減免を行い、マイポータルに登録した方のみ減免期間が2か月延長され6か月となる。

<石川委員>

資料2の2ページに「一般的な3人世帯(口径20mm、月20立方メートル使用)の場合、6か月で約4,600円を減免」とあるが、企業や個人事業主の場合も同様なのか。

<布施水道総務課長>

使用している水道の口径が13mm、20mm、25mmの場合は、事業者であっても減免対象になる。

【議題「千葉市水道事業中長期経営計画について」の質疑応答】

<岡崎委員>

「資料3-別紙2 千葉市水道事業中長期経営計画(R7改定)-概要版-」の(4)計画目標に、広域連携強化の主な検討内容として、長柄浄水場から市営水道への第三者委託による送水とあるが、実現しないリスクはどのくらいあるのか。

<神田水道局次長>

長柄浄水場から市営水道への第三者委託による送水については、布設する送水管の経済性や技術的な問題も含めて検討しているところであるが、国に確認し進捗していかねばならない部分もあり、千葉市が単独で決定していけるものではないため、絶対に実現するとは申し上げられないが、千葉市としては経営の抜本的な改革になるため、ぜひ実現したいと考えている。

<段木委員>

「資料3 千葉市水道事業中長期経営計画の進捗状況について」の5ページに平川浄水場外15施設でNTT専用回線サービスが終了するため、光回線への更新を行うとあるが、この回線は浄水場でどのような役割を果たしていて、更新を行わない場合、どのような影響があるのか。

<塩見水道事務所長>

現在、平川浄水場外15施設をNTT専用回線サービスによるネットワークを構築しており、平川浄水場で外15施設を集中管理している。更新を行わない場合、各施設の状況が分からなくなり、集中管理ができなくなってしまう。

<川瀬委員>

資料3の2ページに市営水道の全ての管路の耐震化率は令和8年度で57.1%、上水道耐震化計画の管路（避難所等の重要施設に接続する管路）に限っては76.9%とあるが、千葉市内の県営水道給水エリアの耐震化率について把握しているか。

<神田水道局次長>

県営水道給水区域における千葉市内に限った耐震化率の数値は算出されていないが、県営水道全体では、令和6年度で28.8%と聞いている。市営水道の令和6年度の耐震化率は管路全体で56.3%である。

<椛澤委員>

「資料3 千葉市水道事業中長期経営計画の進捗状況について」の7ページに、広域連携強化による効果として、千葉市は「保有する未活用水源の活用による水源費用の二重負担の解消や、老朽化した土気浄水場の廃止などを図ることができる」とあるが、費用対効果の見込みはどれくらいなのか。

<神田水道局次長>

千葉市が保有する未活用水源を長柄浄水場から第三者委託により市営水道に送水するために千葉市が負担する費用としては、長柄浄水場から市営水道の大木戸浄水場までの送水管の布設工事費用及び送水設備を管理するための監視設備の設置費用などがあり、約20億円と見込んでいる。また、長柄浄水場から大木戸浄水場の間には既存の送水管が一部布設されており、この既存の送水管を活用できる場合は費用を減額できる見込みである。

効果額については、現在、市営水道は県営水道から県の水源を使って浄水加工済みの水を分水という形で156円/m³で購入している。当該第三者委託が実現した場合、市営水道が保有する水源の浄水加工を県営水道が保有する長柄浄水場に委託する形になり、この場合は市営水道の水源を使用するため、分水費用よりも水源分の費用を抑えられると考えている。

<椛澤委員>

今後、協議を進めていく中で、効果額のシミュレーションや具体的な数値が出た場合は、情報提供をお願いしたい。

<石川委員>

大網街道沿いで管路の布設工事を行う際は、自治会等を通じて市民にきちんと情報提供してほしい。

<塩見水道事務所長>

布設工事の情報提供については街路建設課と調整を始めている。実際に工事を行う際は、自治会等を通じて市民へ情報提供したいと考えている。

【その他】

<川瀬委員>

冒頭の水道局長の挨拶で、市営水道の水道料金については令和7年12月の定例会で条例改正議案が原案可決で議決されたとあったが、定例会の中でどのような質疑応答が行われたのか、説明をお願いしたい。

<布施水道総務課長>

定例会においては、県営水道と市営水道が同一の料金設定をしているという現状を説明した上で、県営水道が平均改定率 18.6%に改定する理由や、市営水道が同様の改定を行う必要性を説明し、概ね肯定的な意見をいただいた。